

案件化調査：環境・エネルギー・廃棄物処理分野

ソロモン諸島及び太平洋諸島における環境配慮型トイレ導入調査

企業・サイト概要

- 提案企業：大成工業株式会社・オリジナル設計株式会社共同企業体
- 提案企業所在地：鳥取県
- サイト・C/P機関：ソロモン諸島ホニアラ市・環境局(EHDHCC)、保健省(MHMS)ほか



ソロモンの開発課題

- 観光・・・ホニアラ市内美化・海洋水質改善
- 衛生・・・水衛生環境の改善・衛生意識改善
- 保健・・・水系感染症等の減少



【市内美化運動看板】



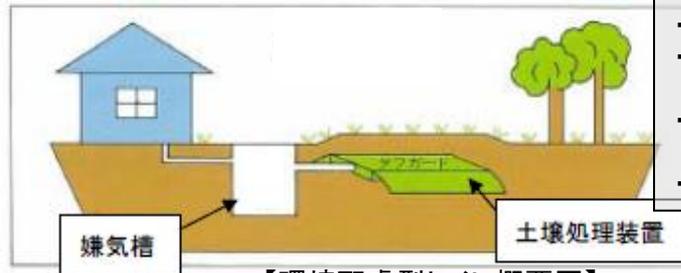
【海洋汚染状況】

中小企業の技術・製品

- 環境配慮型トイレ Taisei Soil System
日本の昔ながらの手法である「肥溜め」と「畑」の原理で生活排水を処理する。

【トイレ調査状況】

- ・放流先不要
- ・安定した処理能力
- ・電力不要
- ・簡易かつ低価な維持管理
- ・日本で400以上の実績
- ・環境省実証試験認証



提案されたODA事業及び期待される効果

- 首都ホニアラ市内の学校の衛生改善プロジェクト・・・市内約40校の既存トイレへの環境配慮型トイレ導入と維持管理を含めた技術移転及び先生・生徒への教育等を行い、学校の衛生環境改善及び衛生意識の向上を行う。
- 水系感染症等の減少、衛生環境の改善、衛生環境への意識向上、雇用の増加、海洋環境改善による観光業等の経済発展 等

日本の中小企業のビジネス展開

- 現地パートナー企業Solomon Resource Engineeringとの協業により、まずホニアラ市内のトイレをモデル的に環境配慮型トイレに改良する予定。モデル施設を用いて稼働実証実験を行うと共に、人材育成、現地政府機関との打合せ等を実施する。
- ODA事業実施以降は、他地域・国への普及のため、衛生意識改善、コスト改善、維持管理を含めた技術移転等を行う。